

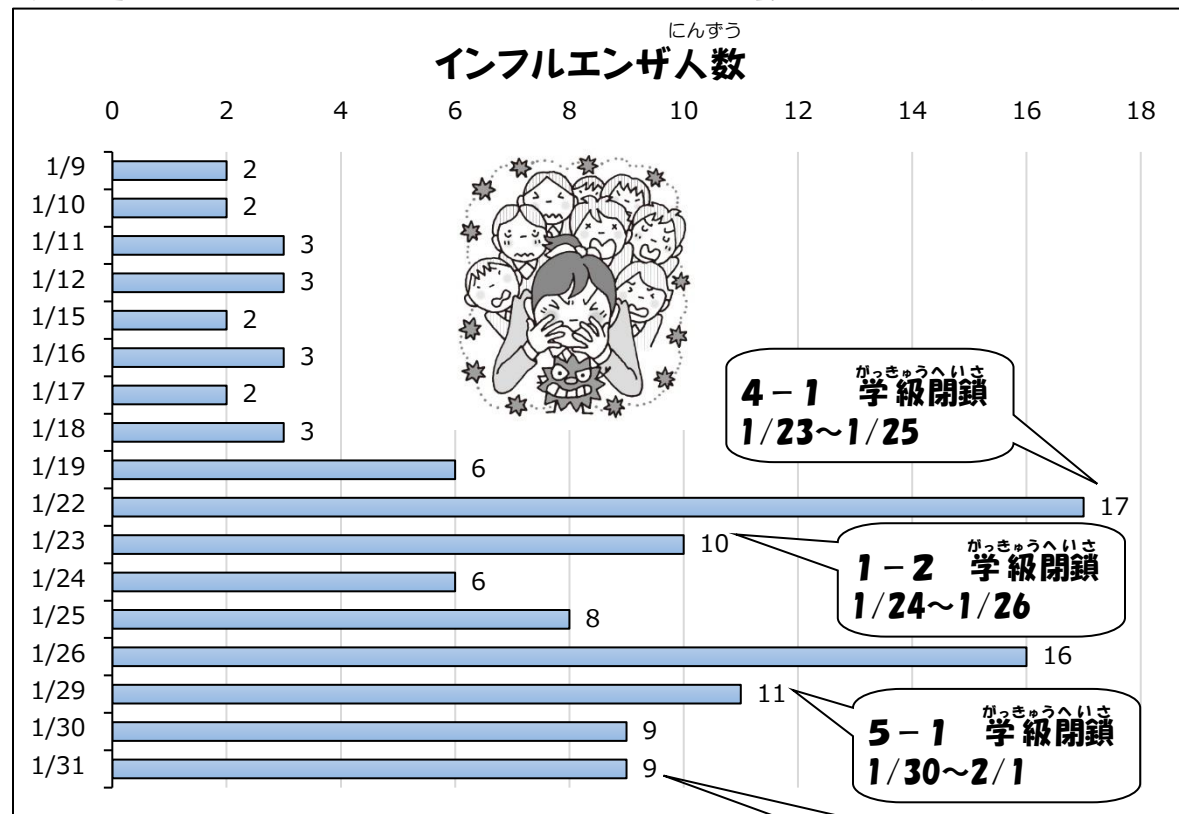
ほけんだより

2月号

平成30年2月2日
岸和田市立八木北小学校・園

暦の上では2月4日から春になりますが、まだまだ寒さの厳しい日が続きます。インフルエンザの流行も本格的になり、岸和田市内で学級閉鎖が相次いでいます。今年はB型の流行開始が早く、A型の流行と重なってしまったことも、インフルエンザにかかる人が多くなっている原因の一つのようです。逃げるように過ぎていく2月。しっかり感染症対策をして、大切な毎日を元気に過ごしてほしいと思います。

◆八木北小でのインフルエンザ流行状況 (平成30年1月)



◆「隠れインフルエンザ」について

インフルエンザは風邪よりも症状のあらわれ方が急激で、症状が重いのが特徴ですが、意外なことに軽い症状のインフルエンザも少なくありません。微熱や鼻水が出る程度でも、検査をしてみたらインフルエンザ陽性だったという例もあります。しかし、軽症でも周囲の人にうつしてしまう危険があるので、①体調が悪いときは無理して外出しない②咳エチケット(人にうつさないようなせきやくしゃみの仕方)の2つを心がけてください。

インフルエンザ いつから登校していいの? 小・中・高校版

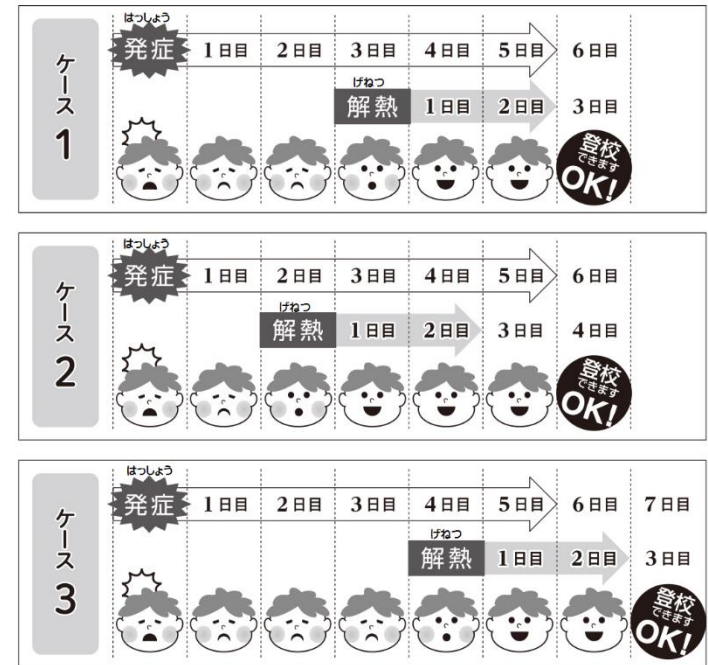
登校していいのは、この2つがそろった時

解熱後 2日経過している

+

発症後 5日経過している

※発熱がみられた日を発症とします
※ただし、医師に「感染のおそれがない」と認められた時は登校してもOK



◎インフルエンザ等の学校感染症にかかった場合は、お医者さんの許可が出るまで登校できません。回復し、登校の許可がでたら「意見書」を病院で記入してもらって、登校時に学校へ提出してください。用紙は学校にあり、学校ホームページからもダウンロードできます。
※意見書はクラス・名前を書いて病院に出してください。

せきやくしゃみについて

せきは台風のときの風と同じくらい、くしゃみは新幹線と同じくらいのスピードで、たくさんのウイルスと一緒に飛んでいきます。

インフルエンザ等にかかってから症状が出るまでのことを潜伏期間といいますが、この間にも病気を人にうつしてしまうことがあります。病気にかかっているときもそうではないときも、せきやくしゃみをまわりに飛ばさないように

- ①せきやくしゃみが出ているときはマスクをする
- ②急に出そうなときは、ティッシュやうでで口をおおう

など、工夫するようにしましょう。

